



キラリ★八代人 悲観的に準備して楽観的に試合に臨む

バドミントン界の次世代スター候補の郡司莉子さん。兄の影響で小学校2年生から本格的にバドミントを始め、本市で開催された全国小学生ABCバドミントン大会で優勝するなど小さい頃から力を発揮。数々の大会で結果を残してきたが、一番悔しかった試合は中学3年生の時に出場した全国中学校体育大会だという。それまで同学年の選手に負けたことがなかったが、初めて負けを経験。「この経験がなかったら、今白百合にもいなかったかもしれない」と語るほど人生の大きなターニングポイントとなり、この悔しさをバネに高校でのさらなるレベルアップを誓った。高校ではインターハイや世界ジュニア選手権での優勝など、日本だけでなく世界で活躍する選手となった。この活躍の



郡司 莉子さん
(八代白百合学園高校3年)

バドミントン界の次世代スター候補の郡司莉子さん。兄の影響で小学校2年生から本格的にバドミントを始め、本市で開催された全国小学生ABCバドミントン大会で優勝するなど小さい頃から力を発揮。数々の大会で結果を残してきたが、一番悔しかった試合は中学3年生の時に出場した全国中学校体育大会だという。それまで同学年の選手に負けたことがなかったが、初めて負けを経験。「この経験がなかったら、今白百合にもいなかったかもしれない」と語るほど人生の大きなターニングポイントとなり、この悔しさをバネに高校でのさらなるレベルアップを誓った。高校ではインターハイや世界ジュニア選手権での優勝など、日本だけでなく世界で活躍する選手となった。この活躍の



次の目標に向けて練習に励む郡司さん

原動力となったのは仲間の存在だという。「自主練習などではお互いに切磋琢磨し、試合でも必死に応援してもらいとても励みになった」と話す。特に昨年八代で開催されたインターハイでは、地元の大きな声援が力になった。郡司さんは高校卒業後、「くまもと再春館製薬所バドミントンチーム」に入団することが決まっている。「憧れの山口茜さんと一緒にプレーできるのが楽しみ。今は憧れという存在だがいつかは茜さんにライバルと言ってもらえるよう頑張りたい」と意気込む。目標は7年後のロサンゼルスオリンピックで金メダルを取ること。「見ている人を楽しませることができると選手になりたい」と話す郡司さんは、世界のトップ選手を目指しこれからも走り続ける。



発見★元気印の会社 No. 33

今月の元気印の会社は、電気さくの国内シェアトップを誇り、熊本県ブライト企業にも認定されている「株式会社 末松電子製作所」です。



《会社概要》

会社名 株式会社 末松電子製作所
代表取締役社長 末松 謙一
所在地 八代市川田町東 34-1
☎ 53-6161
HP <http://www.getter.co.jp/>
従業員数 78人
事業内容 鳥獣侵入防止などの電気さく関連資材一式の開発・製造・販売、パルスパワー関連機器の開発・製造



社員の声

・顧客の細かい要望にも柔軟に対応し「頼んでよかった」と言ってもらえた時にやりがいを感じます。また、新しいことにもチャレンジしやすい職場環境です。

(新事業開発担当・男性・30代)

・福利厚生もしっかり利用でき、何より社内の雰囲気が温かいのでとても働きやすいです。

(営業事務・女性・30代)



社長メッセージ

弊社は電気さく専門メーカーとして、顧客一人一人の要望に合わせて開発から納品までを一括で行っています。また、新たな分野として大学研究用のパルスパワー電源装置の開発にも取り組んでいます。昨今では、農業振興と鳥獣被害問題は切り離せない状況なので、八代の農業振興のためにも、地元企業として社員一丸となって貢献していきます。

